

市制施行40周年

広報

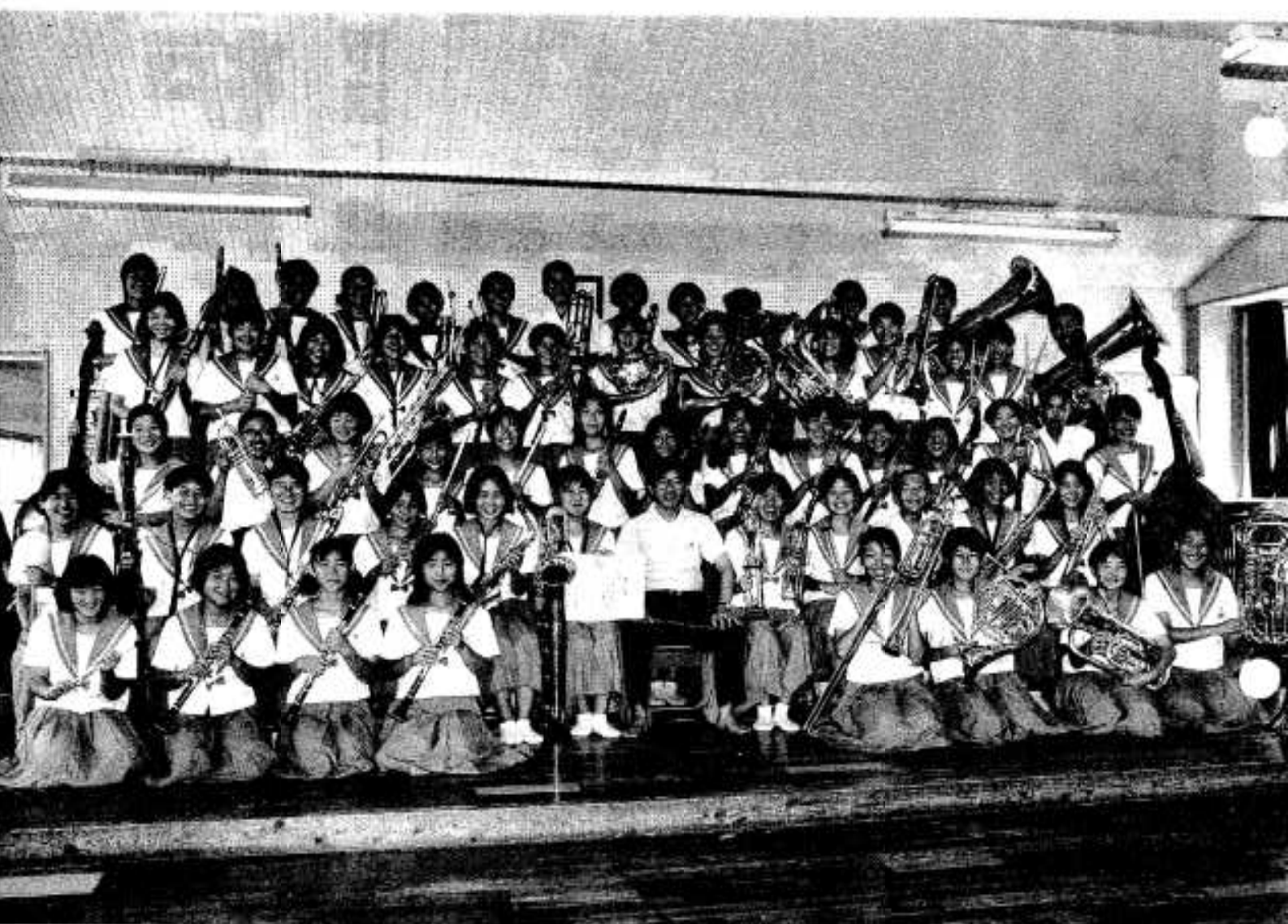


あくね

阿久根特産
アクネ
うまいネ
自然だネ

阿久根特産

第548号



(愛用の楽器を手に、受賞を喜ぶ阿久根中吹奏楽部のメンバー)

平成4年

“銀”の笑み

9月号

鹿児島市民文化ホールで8月30日、第37回九州吹奏楽コンクールが開かれ、県代表として出場した阿久根中学校吹奏楽部(山田しのぶ部長、部員63名)が見事、銀賞に輝きました。総参加校数608校の中から勝ち取った栄えある賞に関係者一同大変喜んでいました。同部は昨年も銅賞を獲得。顧問の福島玲士教諭は「前回の経験を活かし上位を狙った。取れてうれしい」と、部員たちと喜びを分かちあっていました。

阿久根市長及び市議補欠選挙

新戸勝記氏が再選

市議には浜崎重雄氏が初当選



贈られた花束を手に、選挙後初登庁する新戸勝記氏

市長選挙確定得票

④ 新戸勝記氏(65) 九、六二〇票

齊藤洋三氏(55) 九、五九五票

投票率は 八九・四八%

- 有権者総数 二二、六二八人
- 投票者数 一九、三三三人
- 有効投票数 一九、二一五票
- 無効 一三八票

任期満了に伴う阿久根市長選挙と、市議の死去に伴う同市議会議員補欠選挙(被選挙権一人)は八月三十日告示、九月六日に投票が行われました。開票の結果、市長には新戸勝記氏が、また市議会議員には浜崎重雄氏が当選しました。

市長選挙に立候補していたのは、新人で市社会福祉協議会会

長の齊藤洋三氏(55)「保守系無所属」と、現職で二期目を目指す新戸勝記氏(65)「同」の二人。告示から投票日前日まで一週間、両候補とも市内全域をくまなく回り、それぞれの公約を市民に熱く訴えました。

投票終了後、午後八時から市民会館大ホールで即日開票され、新戸氏が齊藤氏に二十五票の差

をつけ、再選を果たしました。新戸氏は投票日の翌日の七日には、早速市役所へ登庁、多くの職員らの拍手に迎えられたあと、江良英千代選挙管理委員会委員長から当選証書を交付されました。

十一日には、市役所大会議室で就任式があり、新戸市政二期目がスタートしました。

また、市議では、新人で漁業浜崎重雄氏(56)「日本共産党」と、前職で商業河野義夫氏(65)「保守系無所属」の二人が立候補。開票の結果、次のおり浜崎重雄氏が初当選を果たしました。

市議補選確定得票

④ 浜崎重雄氏

一一、四二五票

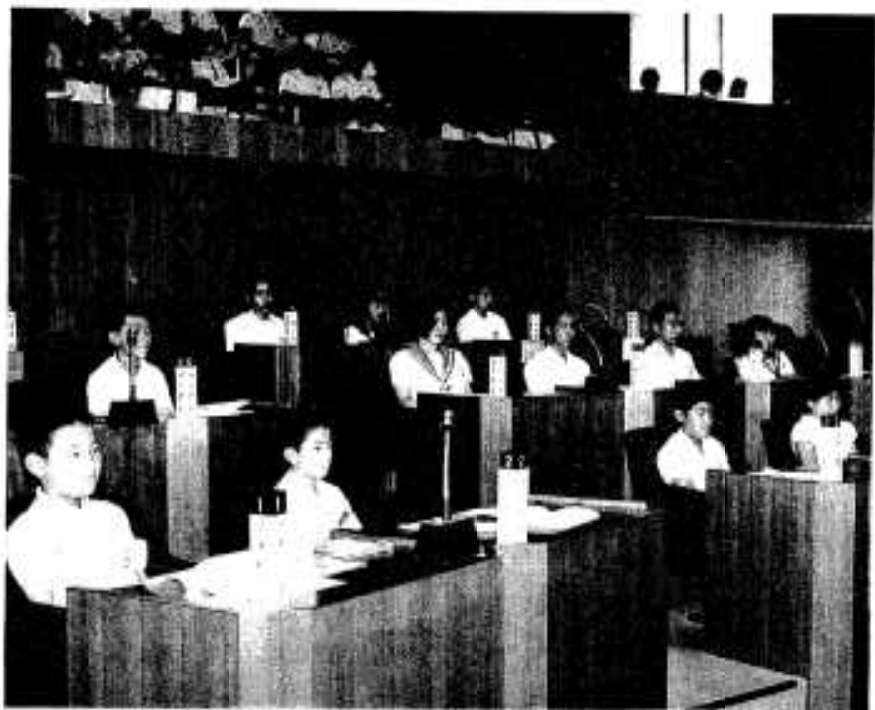


新 56歳
共産 永田

河野義夫氏

六、二八七票

疑問や将来計画など鋭く質問 ＝小・中学生が模擬市議会＝



執行部の答弁を熱心に聞く「一日議員」たち

市制施行四十周年を記念して市内小、中学生による「模擬市議会」が八月七日、市役所三階の議事堂で開かれました。議会は午前十時に開会。執行部席には新市市長をはじめ市幹部が顔をそろえる一方、議長席には岩切敬洋君(15)「阿久根中三年」が座り、議員席には二十一人の「一日議員」が陣取りました。岩切議長の議事運営で十五人が登壇し、子供から見た阿久根の現状や将来計画、疑問や要望を率直に市執行部にぶつけました。

二十一世紀を担う阿久根の子供たちが何を考え、郷土に何を望んでいるのか。議会での質問、及び答弁要旨を掲載します。

(本文中敬称略)

プールの水換えは

上原口雅人(西目小)

水泳指導の時、プールの水が濁って見えない状態でした。水面の上からはプールの底は見えても、中に入ると三、四メートル先は見えず、汚れが浮かんでいます。毎日循環器を回していても、色がつく程の汚れではありませんが、気になっていきます。大丈夫でしょうか。

教育長 大変ご迷惑をかけたと思います。今回の水の濁りは循環器が正しく使われていなかったのではと考えます。

プールの水は、上水道の水を使っており、循環器を使ってきれいにしながら経済的に大事に使っているところです。プールの水換えは多くの人手が必要で、計画通りにしかできないということでしたが、衛生的には問題が無いということでした。これから学校と十分連絡を取って、きれいな水で泳げるようにしていきたいと思えます。

緑のまちづくりを

永田 久夫(大川小)

今、世界で酸性雨が降っています。これは森林の伐採などに

よるものです。日本でも酸性雨が降っており、全国各地で木や草が枯れてきています。また、鹿児島でも木が切られ、緑が減ってきています。

他の市町村ではゴルフ場をほとんど造り、自然の良さが壊れてきています。阿久根では自然を大切にするためにどんな計画を立てていますか。

市長 阿久根市の緑面積は、三、五八九ヘクタールのうち五十七％にあたる七、七六五ヘクタールが森林です。市では市有林七〇八ヘクタールの森林育成を図りながら緑を守り育て、また人工林を育てながら自然の広葉樹林も大事にして行く対策をとっています。鶴川内周辺の山、約二十三ヘクタールを、天然林を改良し市民のこの森をつくり市民の皆様にご利用していただ



きれいにツツジが植栽された「憩いの森」

ています。市街地でも公園や緑地をつくり、毎年約二千本ぐらいつつ植栽を続けています。木の成長には長い年月がかかりますが、温かい気持ちで木を育てる皆さんの心がどうしても必要です。毎日使う水道水の元になる木を大事にしていくようお願いいたします。

投げ捨てに罰則を

八郷 康敏(三笠中)

最近空き缶の投げ捨てが問題になっていますが、子供より大人の方が車の中などから投げ捨てるのをよく見かけます。これではいくら空き缶を拾ってもきれいになりません。市の条例でも罰則を決めてもらえないでしようか。

また、海水浴場など掃除をしてみてもごみが多く、このような状態では阿久根の財産である海をダメにしてしまいます。市ではどのような対策をとっているのか、海の資源はどのようにしているのか教えてください。市長 県ではサンライフ運動の展開や、鹿児島県空き缶等散乱防止対策要綱を定め、市、事業所等が一体となって空き缶の防止と資源の再利用に努めているところでは。

市としても広報による啓発、立て看板等の設置、道路、公園等の公共的な場所の清掃強化、ごみの持ち帰り運動などを行っています。また今始めているごみ袋の統一化事業も市民の皆さんにごみに対する認識をより深めてもらうための対策です。

しかし、未だに空き缶を投げ捨てていく心得の無い方が多くいます。それに対し罰則がつかないかという質問ですが、私は罰則を決めて厳しくする前に、やはり市民一人一人がきれいな環境をつくる努力が必要だと考えます。市民の美化意識の向上、そして社会ルールの徹底をめざして、この問題と一緒に努力をして行きましよう。

二番目に環境の汚染で魚などが減少しているのではとの質問ですが、阿久根市ではそのよう



海岸の清掃作業をする児童たち

な事が無いよう、捕る漁業からつくり育てる漁業をめざし、栽培漁業センターで稚魚を生産し、海に放流し、豊かな海であるようにという願いを込めて努力しております。みんな海もきれいになるように守っていきなさいと考えているところです。

学校トイレを水洗に

市丸 陽美(阿久根中)

阿久根中のトイレはくみ取りなので、衛生的によくありません。暑い時の悪臭にはトイレに入るのをつい我慢してしまいます。一日の大半を学校で生活している私たちの最も身近な場所を早く水洗化してもらいたいと思います。

教育長 大変申し訳なく思っております。教育委員会ではできるだけ早く市内の全小中学校を水洗化したいと考えています。現在水洗化している学校は阿久根小と大川中の一部です。今年水洗化を計画して仕事を進めているのが、大川中の残り西目小を計画しています。

水洗便所はその排水をどうするか大きな問題であり、教育委員会でも条件を早く整えたいと考えています。阿久根中の場合は、



水洗化された大川中のトイレ

周りの都市計画との関連があり困っているのですが、できるだけ早く水洗化に取り組みたいと考えています。

特産品で有名に

中野 暁光(折多小)

市長さんに質問します。阿久根市の特産物を大量に生産したり、特産物をもっと増やしたりして、阿久根を有名にしていくな計画はないのですか。

市長 阿久根市の農林水産物の生産高は平成三年度百一億九百万円、水産物の水揚げ高は七十七億五千二百万円となっています。

阿久根市の特産品を県内外の多くの人に知ってもらうために、東京、福岡、鹿児島市などの有名デパートで売り場をつくり毎

年物産展を開いています。また年間五百万円をかけ、専門家にお頼いで品物を作る技術や知識を勉強しあっています。アツネうまいネ自然だネ」という統一シールも作り、売り出しも行っていきます。

そして今、阿久根漁港に「アツネうまいネ自然だネセンター」を造ろうと計画しています。今後「美しい村づくり特別対策事業」を中心に、一日も早くセンターを造りあげて、人が阿久根に来ていただくように、そして品物の宣伝の中心の場所になるように最大の努力をしたいと考えております。

人口増への方策は

中村 聡子(三笠中)

市勢要覧を見て気づいたので、昭和五十五年に二十代の人男女合わせて二、九一九人いたのに対し、平成二年には二、三九九人で、十二年間の間に約二十三%もの若い人が減っています。そして六十五歳以上の人が同じ間に、四、五六九人から五、九六五人へと約二十二%も増えています。

このままでは市全体が老人ホームになるやもしれません。若い人が阿久根に残るための努力

をどのようにされているのか、また高齢化対策についてどのようになっているか。

市長 人口の定着を図るには、働く場所の確保が重要です。これまで企業誘致は、女子雇用型が中心でしたが、今、若い男子雇用型の企業誘致に取り組みで、助成もしています。例えば今年五月から操業を開始した鹿兒島金属は若い男子雇用型の工場で、しかも大半が本市出身者であり、将来確実に人口の定着が図られるものと期待しています。

企業誘致を進めるには働き手の確保、適当な土地、消費地との位置関係などいくつかの条件があります。工場用地については、現在、鶴川内の桑原城に約二十五ヘクタールの用地の確保に努力をしています。また、時

間短縮を図る上で道路整備が必要であり、高速道路と合わせ空港、鹿兒島市への時間短縮を図れる道路の整備に一生懸命努力しています。

地場産業の振興を図るため、食肉加工団地や水産加工団地を造成し、互いに研究・努力してもらおう場づくりも進めています。これから地場産業を含め条件整備を進めて行きますが、人口減少の歯止めには企業誘致は有効な方法であり、これからはしっかり取り組んで行きたいと考えています。

老人対策については、本市は市民の五人に一人が六十五歳以上という現状です。市としては国が示している高齢者保健福祉推進十カ条を基本に血の通う福祉行政を進めています。現在、特別養護老人ホームへの入居措置をはじめ家庭奉仕員の派遣、日常生活用具の貸し付け、移動入浴車の派遣、在宅老人の短期保護、今年から始まったデイサービス事業、在宅寝たきり老人の介護手当支給などを行っています。また去年発足したシルバー人材センター事業も今後さらに事業が拡大するよう努力していきます。



今年5月に操業を開始した鹿兒島金属

観光客増加策は

下園 成利(大川中) 観光客増加のための対策としてどのような対策を立てていますか。またそれはどの年齢層をターゲットとして考えていますか。

市長 人口が年々減ってきて、九州新幹線が阿久根を通らないことなどから、もつと観光客がどつと訪れる観光地づくりが必要だと思います。

市長 平成三年度に本市を訪れた観光客は約三万五千人あります。市ではもつと多くの観光客に来てもらうように、四十二キロの海岸線を整備するウオーターフロント計画を立てました。新港を埋め立て、「アクネウマイン自然エネルギー」を設け本市の特産品を買ってもらいます。また、阿久根大島や長崎県野母崎町への乗船場もそこに設けたいと考えています。

いろいろな所から阿久根へ来ていただくよう三県架橋や南九州西回り自動車道、阿久根、東郷線の整備を国や県にもお願いしています。

観光施設の整備は、阿久根に来る人みんなが楽しく喜んでもらえることが一番大事と考えます。ターゲットにする年齢層は若者も家族連れもお年寄りもみんなということになります。



利用増加が望まれる阿久根-野母崎町航路

眼科等の設置を

尾上伸太郎(阿久根中) 現在阿久根市には眼科、耳鼻科がありません。そのため出水、川内方面まで治療に行かなければなりません。市民病院に眼科、耳鼻科を設置すると聞いたことがあります。今、市ではどのような検討がなされているのでしょうか。

市長 耳鼻咽喉科については

新幹線が本市を通らず困るという質問でした。確かに一つの交通機関としては大きなハンデではあります。将来阿久根は陸路の中心として発展して行くという地理的な明るさが残っています。

海の青さと山の緑を活かして明るく魅力ある観光地づくりに努力していきたいと考えます。

近くに図書館を

川畑 清香(山下小) 山下小の方が近いのに阿久根小に行く人がいます。私はなぜ

去年閉院となり、眼科も今年の五月に閉院となりました。現在、医師会、市民病院へもお願いしていますが、眼科、耳鼻咽喉科の先生が全国的に不足していることが大きな原因です。

市民病院では、いわゆる総合病院をめざしていただいております。施設的には眼科室、耳鼻科室ともすでに整備も終わり、先生が決まるとすぐにでも開設できる状態です。しかし、両科の先生が県下にも全国的にも少ないという実態があるわけで、今、一生懸命お願いをしているところです。

出水地区のお医者さんや市町長らで構成する出水地区医療問題懇談会の中で、この現状を訴え、一日も早く耳鼻咽喉科、眼科の先生が阿久根にご赴任いただきますようお願いをさせていただきました。

眼科、耳鼻科が無くお困りの方がありませんが、このような事情をご理解いただき、今しばらくお待ちいただきますようお願いいたします。

山下小に來ないのかなあと不思議に思うことがあります。どこの小学校に通うというのほどのように決めるのですか。

次に、阿久根小の近くに市立図書館があります。新しい本やおもしろい本がたくさんあり、山下小の近くにも市立図書館のようなものができればいいと思います。建設計画はないのでしょうか。

教育長 通学区域というのは住民の方の意見や今までの慣わしなどをと、本市では「阿久根市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則」の中で決められています。しかし、この決まりでは、先程言われたように、こんな遠いところにどうして行くのだろうかという人もありますので、通学区域を変更することも認めています。例えば、足が不自由で指定された学校に行けないとか、通学が大変であるとかいう時には、教育委員会に相談していただくと審議をして変更することがあります。

それから、学校の近くに図書館があれば便利だと思いますが、図書館を造るには大変たくさんのお金が必要であり、税金をどのように使うかは、市議会での決定が必要です。

現在市立図書館では遠い人の

ために移動図書館や巡回文庫などいろいろな工夫をしておりますので、ぜひご利用ください。また学校の図書館にはいい本が無いという時には連絡していただければ市立図書館が工夫してくれると思います。

阿久根のPRは

馬場 英樹(三笠中)

市内の小中学校の体育館は新築されていますが、三笠中は一歩改修が終わっています。今後の三笠中の体育館の新築計画はどうなっていますか。

次に、阿久根は新幹線ルートから外れ、今後は衰退していくと考えます。そこで阿久根の



阿久根を広くPR(福岡市博多での物産展)

素晴らしい自然、大島や史跡等をもっと県外にPRして、活気ある阿久根にする必要があると思います。今後の阿久根のPRについて教えてください。

市長 先程もお答えしました。阿久根市が外れていることは、一つのハンデキャップではありませんが、それらを乗り越えて阿久根の持っている自然条件を活かし、活性化への努力をしなければならぬと思います。

観光協会では本市の観光について、いろいろ活発な運動をしていただいています。今後、市が同協会の後ろ盾となってこれからの観光、開発等を考えていきたいと思っています。

商工観光課長 東京や福岡、鹿児島市の有名デパートで物産展を開くときに、同時に観光展も開いています。本市の素晴らしい風景や観光施設をパネルにして展示し、デパートの買い物客にパンフレットや特産品のプレゼントをして阿久根をPRしています。

また例年イワシのふるさと便を実施し、皆様からのお便りも一緒に送っていますが、これも全国に阿久根を知ってもらおう大きな力になっていると考えます。それから、ポインタロードレ

ース大会等をはじめとした各種イベントをもっと全国に知ってもらうような努力も必要であると思います。今後も阿久根しかできない、阿久根しか無いものを大切にしながら本市の良さを売り込んでいこうと考えます。

教育長 学校施設の新築・改築については第三次阿久根市総合開発計画に基づき、教育委員会としては、具体的に十か年計画を立てて進めているところで、三笠中に関しては、本年度教室の内装、座体の一部補修、給食室の全面改修、それからパソコン教室、美術室などの特別教室の新築、弓道場の移転改築など計画しています。

質問の座体の改修は、校舎の大規模改修と一緒に考えており、来年度できないものかと仕事を進めているところで、

公園のつみについて

弓木野公勇(阿久根小)

公園のごみについて。阿久根小では福祉協賛校としてボランティア活動を行っています。私たちも港の周辺や公園の空き缶拾いをしました。短時間の活動でしたが軽トラック二台分のごみが集まりました。

公園はみんなが利用する場所



ごみの持ち帰りを呼びかける立て看板

で、そこにごみがたくさん落ちていっていると、とてもいやな気持ちになります。家庭のごみは曜日を決めて集めていますが、公園のごみはどのようにして集めているのでしょうか。

市長 皆さんが周りをきれいにするためにボランティアとして活動していることに感謝いたします。

今市内には公園が三十八か所あり、公園の清掃などをしてもらう方が三人いらっしゃいます。毎日見回りをして、できるだけ掃除もきれいにしています。市ではチリは持ち帰ってもらうように看板を立てたり利用者に呼びかけていますが、やはりごみが後を断たないというのは残念な限りです。

ごみの無いきれいな公園としてみんなを利用していただくように一緒にお願いし、きれいな

公園づくりに努力したいと思いをします。

下水道について

松本 剛宏（脇本小）

社会科で下水道のことを勉強し、出水市の下水処理場を見学したことがあります。そこで三つ程お伺いします。まず、阿久根市内の下水道の設置状況はどうなっているのか、二つ目に今後の下水道の整備計画はどうなっているのか、三つ目は、僕たちの協本の下水道の整備計画はどうなっているのでしょうか。

また教育長さんへ、脇本小はまどくみ取り式のトイレであり、水洗トイレになればいいと思いますが、学校の水洗トイレの設置状況を教えてください。

市長 阿久根市はまだ下水道は設置していない状況です。下水の処理は、市街地や農村部などで条件が違いますが、各家庭で処理される下水は、道路の側溝や下水路を通して河川に排水されているのが現状です。

最近宅地造成が進み、家庭排水も多くなっています。市では昭和六十年度に公共下水道計画の基礎調査を行い、整備計画を検討していますが、建設には巨額の費用がかかりますので、今



整備が進む番所丘公園(手前は人工スキー場)

後市民のご理解をいただき具体的に取り組んで行きたいと考えています。

現在、市街地の一部、また湯区画整理事業の中でも都市下水路を整備し、環境の改善に努力しています。

農村部では農業用排水と生活雑排水の両方を処理しなければならず、そのため農業集落排水事業が必要ですが、協本地区はこの事業によって、整備を進めていこうと考えています。

きれいな海や川を守るためにも、できるだけ早く整備を進めなければなりません。

教育長 トイレの設置状況、計画は先の十一番議員の質問にお応えしたとおりです。脇本小のトイレの水洗化については来年度できないかと検討しており皆さんの要望に応えられるよう努力していきたいと考えています。

地区内に公園を

川崎 美里（尾崎小）

今、尾崎地区には公園がなく広い広場のある公園が欲しいと思います。学校の校庭は家から離れていて、くつろげるようなベンチや日陰もありません。子供もお年寄りも、いろんな人が集まって来て、くつろげる場所があれば、地域の人たちももっと仲良くなれると思います。

市長 今、中心的に整備している番所丘公園が完成すると、皆さんがゆくりくつろいでもらえる公園も仕上がるのではと期待を持っています。

公園を実現するには土地が必要ですが、今、質問されたような施設が必要であれば具体的な計画を立てていかなければなりません。いい場所があれば地域の皆さんの協力があれば実現不可能なことではないと考えています。今後、みんなとよく相談して、尾崎地区に合った公園が一年でも早くできるよう努力していきたいと考えています。

校庭に

バックネットを

園田 守（鶴川内小）

鶴川内小では校庭が狭く、特にソフトボールなどする時は、ボールが外に飛び出し、非常に危険です。道路を挟んで向こう側には児童館もあり、思い切った練習ができません。

ぜひバックネットと、道路側にフェンスを張っていただきたいのですが。

教育長 バックネットは、校庭の利用の点で、固定式のものや移動式のもの、どのバックネットがいいのか、その辺は校長先生とよく相談して考えてみたいと思います。すぐ作ってあげますと言いたいのですが、予算が必要ですので、議会で早く議決してもらえよう頑張りたいと思います。

フェンスについても、今事務局の方に設計を依頼してありますので、これを早く進めて行きたいと思っています。

21世紀への

まちづくり

篠瀬 彩子（田代小）

私のふるさと田代では、現在山を切り開き二車線の道路を造っていただけており、今後、校区民も増えるのではと期待しています。

反面、交通事故の増加や、自然

破壊ということも心配されます。いろいろなことを考える時、田代のみならず阿久根市の街づくりはどう計画されているのだろうかかと期待と不安でいっぱいになります。私が成人式を迎える二十一世紀に向け、どのような計画がなされているのか教えてください。

市長 これまでの総括が二十一世紀へ向けての計画であると答えるでしょう。

基本的には阿久根の海の青さと、山々の緑を活かした明るい街づくりを実現していきたいと思っています。平成三年度に策定した第三次阿久根市総合開発計画、また阿久根の実態に見合った過疎活性化計画、市民共有の財産を活かしたウォーカーフロント計画。これらの豊富な計画を中心に、年次ごとに実現へ向け努力いたします。

二十一世紀には、今とは想像もつかない素晴らしい阿久根になっただけなのであるかと思いたす。

皆さんが生まれ育った街、阿久根。我が街に自信と誇りを持っていただくように、皆で力を合わせ頑張っていこうではありませんか。

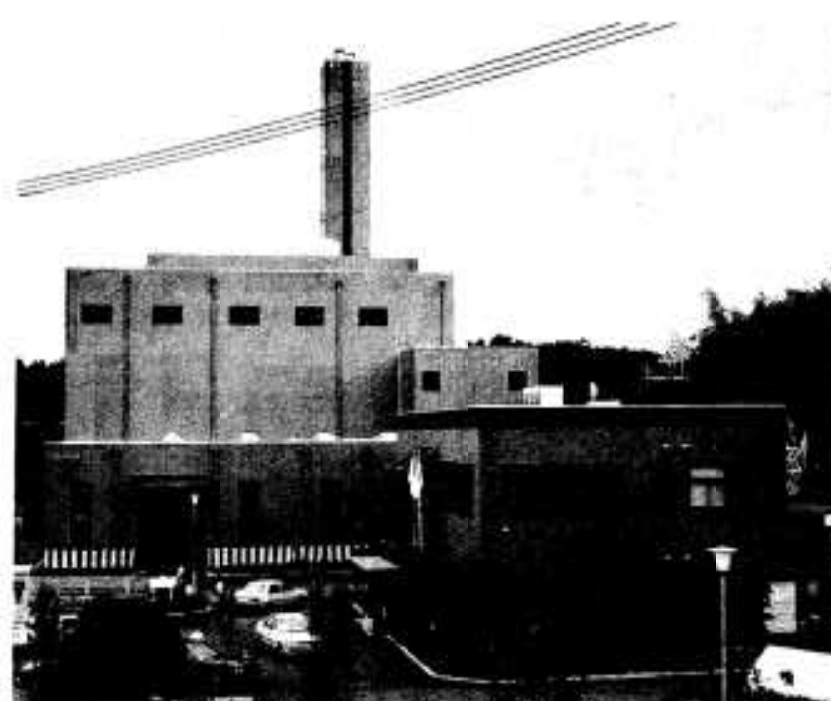
今日は貴重な多くの質問をありがとうございました。

ごみ処理能力2倍にアップ

クリーン焼却場 「環境センター」完成

阿久根・出水市、高尾野・野田・長島・東町の二市四町でつくる北薩広域事務組合（理事長・矢野克規出水市長）が本市多田に建設を進めていた、ごみ焼却

施設である厚生年金・国民年金積立金還元融資施設「環境センター」が完成し、八月二十五日落成式がありました。旧施設に比べ焼却能力が二倍にアップし



稼働を始めた環境センター

たほか、最新設備を備えたコンピュター制御による近代的施設に生まれ変わりました。

敷地面積約五万七千九百平方メートルに焼却炉棟、管理棟、車庫棟、洗車場棟の四棟約千八百八十六平方メートルを建設。ごみの増加に伴い旧施設の処理能力が限界に達し、さらに老朽化が進んだため平成二年七月から工事を進めていました。総事業費は三十三億一千四百七十七万円。

焼却炉は二炉を備え最高処理能力は一日百二十トとこれまで（五十六ト）に比べ約二倍に大幅アップしました。

同センターでは、ばいじんの発生を抑制する有毒ガス除去装置「バグフィルター」を、県内の施設では初めて設置。バグフィルターはガラス繊維を使用したろ過装置で、ごみ処理場などから出る毒性の強いダイオキシンなどのばいじん抑制に大きな効果があります。

また、施設内で使用した廃水

は場内で中和、ろ過して冷却水として再利用し、場外には放流しないクローズド方式を採用。ごみの受け入れから燃焼、排ガス処理、公害監視にいたるまでコンピュターによる集中管理

ごみ袋の統一 減量化と美化に効果 今後ともご協力を！

八月から収集用ごみ袋が、市内一斉に統一されました。これは我が阿久根市が、ごみ問題の解消に率先して取り組んだ事業であり、周辺自治体からも注目を集めています。

ごみ袋の統一から約一月半。事業はスムーズに進行しているようで、ごみの量についても市環境保健課では「確実に少なくなっている」と話しています。

また、ごみ出しのマナーが非常に良くなっており、以前のように乱雑な出し方は見かけなくなりました。それに伴い収集作業も迅速に行えるようになって

となっており、効率的でクリーンな施設となりました。落成式には各市町関係者らが出席し、テープカットなどが行われ完成を祝いました。



(統一前)



整然と出されたごみ(統一後)

いるようです。今後とも街の環境美化とごみの減量化に市民の皆様のご協力をお願いします。

いつまでもお元気で!!

市内90歳以上は179人(男44人、女135人)
長寿一位は假屋イロさん(101歳)

平成4年9月11日現在(年齢は15日現在) ※敬称略

<p>101歳 假屋イロ(上野)</p> <p>99歳 大漣チヨマツ(大漣) 高良武敏(大丸) 尻無濱フジ(尻無下)</p> <p>98歳 新藏巳之助(新町)</p> <p>97歳 小牟田キク(新町) 宮園シモ(波留) 上野ヤエ(羽田) 園田貞義(下桑) 西田駒助(高之口) 若松正一(尻無上)</p> <p>96歳 笹原ケサマツ(桐野上) 大漣ハツカメ(大漣) 山下半兵衛(橋之西) 有田シナ(上野) 垂アイ() 小田原九藏(浜) 池上茂市(大丸) 宮田エタ(波留) 川畑ヒサマツ(川畑中)</p> <p>95歳 東新小次郎(牟田) 大川内エキ(上原) 磯畑イツノ(新町) 鶴崎トメ(上野) 崎山鈴(町) 倉津サエ(倉津) 下園シラノ(尻無上) 川畑伊勢菊(的場) 牛之濱ススミ(牛之浜) 中村センミツ()</p> <p>94歳 慶越林藏(永田上) 南ハツカメ(鶴馬場) 河北センマツ(桐野上) 宮内フイ(瀬之上) 武田ヒサヨ(古里) 八木コメ(橋之西) 福浦セノ(黒之浜) 松田オイシ(段) 竹田スガ(牧内) 出口宗太郎(新町) 上野照藏(上野)</p>	<p>餅越フク(上野) 坂元ヨシノ() 寺下夕子(高松) 白濱律() 吉田ユキノ(大丸) 中尾タメ(波留) 二反ヲサイ(菫野) 築瀬キサノ(米次) 花田喜助(中屋敷) 川畑ノエ(牛之浜)</p> <p>93歳 武宮ハツギク(大谷) 小田庄吉(大尾) 小川信(新町) 水間ヨメ() 小園ソヨ() 黒脇愛子() 宮田ヒモ(上野) 中野アキノ(濁) 落濱田藤助(波留) 川原菊枝() 花木ヒサ() 中野ヨシ(田代中) 寺地サト(尻無上) 湯田チヨ(尻無中) 中村シラ(的場) 神之田エタ(仲仁田)</p> <p>92歳 西孫次郎(丸内) 袋チモ(大林) 小畑テイ(折口東) 池畷ユキ(桐野下) 濱上均(黒之上) 堂之下嘉壽() 松崎ツヤ(瀬之下) 福留明(黒之浜) 園田スイノ(大尾) 築地新イセ(中村) 田原ヤエマツ(牧内) 日笠山トメ(新町) 新町ムツ() 牛之濱スマ() 丹奈田鶴子() 山下スマ() 大下七藏(上野) 上野フク() 東キミ(高松) 宮内コナミ(波留)</p>	<p>平國正兼(菫野) 松木ツル() 田上ハルギク(横手) 赤坂藤吉(下桑) 本クノ(田代下) 木下義昭(遠矢) 谷口ハツエ(尾崎) 東園ナイ(大川島) 宇都キク(馬見塚) 尾上シマ(飛松) 落アキノ() 佐淵フチ(佐淵) 鶴岡小平(尻無中) 下園ツタキク() 中野季夫(的場) 的場セン(中屋敷) 中野ハツノ(仲仁田) 松永矢四郎(牛之浜)</p> <p>91歳 神川ハツキク(折口東) 益田勇吉(鶴馬場) 松下スエノ(下村) 深田ミチエ(筒田) 笹原次助(桐野上) 竹原半助(八郷) 中川ツル(松ヶ根) 山田重次郎(古里) 濱邊アサノ(橋之東) 福留進(黒之浜) 宮原トモ(大谷) 福田信男(段) 小木原チトセ(大尾) 山下慶太郎(新町) 徳田ツ子() 谷口タカ() 遠竹スエノ() 新町オト() 古岡銀藏(上野) 中村ナツ() 森コト(波留) 小野フミエ(菫野) 平田セノ(横手) 児玉ケサキク(上桑) 末吉ナヤ(遠矢) 中村ノエ(弓木野) 猿楽ヲトマツ(佐淵) 寺地ヒロ(尻無上) 川畑ソメ(的場) 神之田節(川畑中)</p>	<p>川畑キミノ(川畑中) 川畑ツル()</p> <p>90歳 下路フデノ(内田) 上野マツノ(陣之尾) 荒木ミヨシ(永田下) 筒利右衛門(筒田) 向スイ() 東田サエ() 十部トラ(桐野上) 中間イト(大漣) 前田クミ(瀬之下) 松崎イ子(古里) 鳴海スエキク(深田) 小田タエ(段) 日笠山スヤ(大尾) 鶴崎アサノ(新町) 濱門ヨシノ() 大曲清(上野) 小川出次() 福永ヨシエ() 古田オシケ() 石本スエ() 松下シノ() 林七郎(大丸) 上脇國藏() 前田名利(倉津) 倉津ミ子() 弓場ユキノ(波留) 中島タケ() 中園チカ() 長田ソメ(楡) 清水清秋(遠矢) 中村長右衛門(弓木野) 折橋キクエ() 大田感藏(尻無上) 松下サヨ() 鶴岡美義(尻無中) 下園ケサキク(尻無下) 下園サヤ(的場) 花田ケサノ() 楠田サスノ() 中野夕子(仲仁田) 牟禮チエ(牛之浜)</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

市長賞（小学生の部）

川は生きてゐる

田代小学校六年

芝越裕輝



「ほっ、ほっ、ほたる来い」
みなさんは、この歌を知っていますか。

美しい川、水をほこらしげに
ほたるに教えている歌です。

阿久根市を堂々と流れる高松
川。この高松川をみなさんは、

ほこらしげに、ほたるに教えて
あげられますか。全長二十四キ

ロメートルもある高松川。
この高松川を、みなさんはじつ

と見つめたことがありますか。
田代には、高松川の上流があ
ります。

春は、紫尾山の雪どけをよろ
こぶかのようにサラサラと音を
たてて流れていきます。まるで、
「入学おめでとう。」と言っ
ているかのように、喜びにみちあ
ふれています。

夏は、カヌーや水遊びのぼく
達の声でにぎわいます。時には
「おいこら、まてー。」と、おに
ごっこをしているかのように水

もキラキラ輝いています。
でも、そんな優しい笑顔だけ
ではありません。

梅雨の時期や大雨が降ると、
まるで教室のみこんでしまっ
たのではないかと思うくらい、「ブ
ー、ゴー」と、すごい音を立て
てにらみつけてきます。

「そこから、一歩たりとも近
づくな。」と言っているかのよ
うです。



ぼくたちは、このこわい顔と
声で、自然のすごさを学んでき
ました。

でも、今、川は泣いています。
高松川は、大きな声をあげて泣
いています。

昨年夏、友達の家へ遊びに
行くときとちゆうでした。数名の若
い人たちが、二、三百の車を橋
の横にため、おしゃべりをして
いました。

どこからか、
「いこうか。」
の音が聞こえたかと思うと、今
まで食べていたおかしのおくろ
とあきかんをポーンと川へ投げ
捨ててしまったのです。

ぼくは、
「あっ。」
と思いました。それ以上何も
できませんでした。

その時、うかんだのは父の顔
です。
「むかしは、つりに行ったら、
足をえさとまちがえて、やんぶ
ちがよって来たぞ。」
「この辺も、ほたるが明かりの
ように集まってたんだぞ。」

今年も、ぼく達の学校では、
やんぶちつり大会をしました。
楽しい一日でした。その感謝の
気持ちを表すために、川そうじ
を夏休みに計画しています。

みなさん、川のある町、海のある町、阿久根市は、これでいいのでしょうか。

「川は生きています。ぜひ、
生きつづけられるよう努力して
欲しいのです。みなさんの手で、
ひとりひとりの手で。」

相談

▼年金（市役所）

9月21日（月） 10時～16時

10月20日（火）

▼税金（商工会議所）

9月21日（月） 10時～15時

10月20日（火）

▼交通事故（市役所）

10月8日（木） 9時30分～16時

11月12日（木）

と、いつもつりに行きたび川を
自まんする父。生き生きとした
顔で、高松川のことを話す父を、
ぼくは、ほこりにしています。
そんな父を大切にしたい。だ
から川をもっと大切にしたいと
いうぼくの気持ちはまちがって
いるのでしょうか。

今年も、ぼく達の学校では、
やんぶちつり大会をしました。
楽しい一日でした。その感謝の
気持ちを表すために、川そうじ
を夏休みに計画しています。

みなさん、川のある町、海のある町、阿久根市は、これでいいのでしょうか。

「川は生きています。ぜひ、
生きつづけられるよう努力して
欲しいのです。みなさんの手で、
ひとりひとりの手で。」

代表者16人参加

堂々と熱弁ふるむ

論大会



平成四年度の少年少女弁論大
会が八月三日、市民会館大ホー
ルで開かれ、市内の小中学生十
六人がそれぞれのテーマで熱弁
をふるいました。

参加した小学生十一人と中学
生五人は、五分間の持ち時間内
に自分の訴えたいことを率直に
かつ、わかりやすくまとめた発
表。「川は生きています」「とりもど
せきれいな自然を」など環境問
題や故郷への思いなどを表現し

少年少女弁



たものが多くみられました。中身の濃い論旨と、堂々とした熱弁ぶりに会場から大きな拍手が送られていました。

他の入賞者は次のとおりです。

- ▼議長賞 尾上由香（西目小）
- 横手和也（鶴川内中）
- ▼教育長賞 松崎博之（鶴川内小）
- 平田誠子（大川小）

平田誠子（大川小）

市長賞（中学生の部） ぜい沢な国から 豊かな日本へ

大川中学校三年

鶴園 愛



「近ごろの若者は物を大切にしない。」という言葉を、最近よく耳にします。テレビや新聞などでも、よく話題になっていきます。私もそう思います。なぜなら、休み時間などに、ノートをまるめて顔をたたいたり、消しゴムをちぎって投げる友達を見かけるからです。そんな時、私は必ず「もったいない。なんで大切に使用しないんだろう」と思います。しかし、よく考えてみると私も物を大切にしていけないことに

気がつきました。落書きをするために、ノートを破ったり、壊れたペンシルを、よく直してもせずに捨ててしまったり、まだまだ使える鉛筆を捨てたり。考えたらさきがないくらいです。「物のありがたさ。」私はこれまで一度も考えたことがありませんでした。母からお金をもらい、ノートを買う。これが、当たり前だと思っていました。しかし、そのお金は、父と母が一生懸命仕事をして、もらってきたものなのです。父と母の仕事の成果なのです。たったの十円であろうと、一円であろうと、そうなのです。しかし私は、そのお金で当たり前のようにノートを買い、何食わぬ顔をして、ノートを破り、あげくのはてには、捨てていたのです。それが当たり前だと思っていたのです。

今考えてみると、本当に自分が嫌になってきます。はずかしくなってきました。父と母に本当に申し訳なくなりました。なぜ私が、「物のありがたさ」について考えたのか、そのきっかけとなったのは、ゴミ問題を話題にしたテレビ番組でした。私はなんとなく、その番組を見ていたのですが、ポロポロのいすの横に、まだ新しいテレビが置いてあるのが目に入ってきました。「もったいない」と思いつながりよく見てみると、まだ十分使えるような机や冷蔵庫などいろいろな物が捨ててありまして、あげくのはてには、まだ袋をおおったままの、電子レンジも捨ててあるではありませんか。私はびつくりしてしまいました。とても信じられない光景でした。「日本も福祉になったねえ。」あれも、これもまだまだ使えそうな物ばかりなのにねえ。」私の横で母が目を丸くしながらつぶやいていました。

若者だけでなく、日本人全体がぜい沢になつてきているのではないのでしょうか。私たちの身近な所に、いろいろな物があふれ、すぐに手に入る今日の日本では、物のありがたさを忘れてしまったのではないのでしょうか。このままぜい沢に慣れ、物を粗末に扱い、簡単に捨てる状態では、私たちが大人になった時、日本はゴミの島になってしまいます。そんなぜい沢の仕方ではないのでしょうか。今、「物を大切にしよう」ということで、私にできることは、鉛筆にはキャップをつけ短くなるまで使うとか、落書きをする時はノートを破らず、広告紙の裏を使うなど、とても小さな心がけでした。それ以来、私はその小さな心がけを実行しています。実行しているうちに「もったいないなあ。もっと大切にすればいいのに」と思うことが多くなりました。

現在のように物が豊富だからぜい沢をし、粗末に扱い、すぐ捨てるという考えを改めて、一人一人が、物を大切にしようという気持ち、小さな心がけが実行できた時、その時はじめて日本は、ぜい沢な国から豊かな国になると思います。



“お年寄りと子どものふれあい学級”

水鉄砲づくりで交流



手ほどきを受けながら水鉄砲をつくる生徒たち

お年寄りの知恵を受け継ぎ、子供らとの触れ合いの場づくりと地域の和づくりを図ろうと、「お年寄りと子供のふれあい学級」が八月二十日、下村公民館でありました。

同学級は、九月から学校が第二土曜日が休みになることから、その時間を活用してお年寄りと子供たちとの交流の時間に充てようと企画されたもの。一回目の学級は、竹を使っての水鉄砲づくりを楽しみました。

地区の老人クラブのメンバー八人と小、中学生約二十人が参加。お年寄りらのアドバイスのもと、子供たちはノコギリやキリを使って各自、手製の水鉄砲を作り上げていきました。できあがると早速水を入れて飛び具合を確かめていました。

同学級では今後も竹とんぼ、たこ、しめ縄づくりなどを計画しています。

広く、明るく、使いやすく。

大丸郵便局新局舎が完成

今年四月から工事が進められていた阿久根大丸郵便局（坂口盛隆局長）の新局舎が完成し八月八日、「国民宿舎あくね」で落成祝賀会がありました。

同郵便局は地元商店街などの要望を受けて昭和三十九年に開局。木造平屋建の旧局舎は、時代とともに取り扱いきれず、業務が増加し手狭となっていました。

完成した新局舎は木造一部鉄筋スレートの平屋建てで面積百六十二・五三平方メートル。以前に比べ二倍以上のスペースがあり、内部も広々として明るい空間が広がっています。

車社会に対応するため駐車場も確保されたほか、新たにCD（現金自動支払機）も設置。地域並びに生活に密着した施設としてさらに使いやすくなりました。



明るい雰囲気生まれ変わった大丸郵便局

尾崎(ソフト)優勝 鶴川内(パレー)

子ども会球技大会

開かれ、ソフトボールとパレーボールの二種目で優勝が争われました。

それぞれの種目に十四チームが参加。ソフトボール場では日頃の練習で真っ黒に日焼けしたチビっ子らが、父母らの声援を受けながら必死に白球を追いかけていました。また、勤労者体育館でのパレーボールでは、熱気の中、汗びっしょりになりながらすばらしいラリーが続いていました。

結果は次のとおりです。

〔ソフトボール〕一位―尾崎
二位―上原 三位―桐野下、湯

〔パレーボール〕一位―鶴川内
二位―湯 三位―古里、佐湯



アルバム



731211 内線 1214

みんなの



行事・催し物など
お寄せ下さい。

『また帰つてきこね』

臨本海岸子ガメ139匹を放流

五月下旬からウミガメの保護
パトロールが行われていた臨本
海岸で八月三十一日早朝、卵か
らふ化した子ガメの放流が行わ
れました。参加した地区の子供
らは大海原に泳ぎ出す子ガメの
無事を折り、いつまでも見送つ

ていました。
六月下旬に産み落とされた卵
を、保護監視員の山口勝彦さん
と鮫島力さんが安全な場所に移
して保護していたもので、この
日は二十九日以降にふ化した百
三十九匹のアカウミガメの赤
やんを放流しました。

ラジオ体操後、地区の子供ら
が波打ち際まで運び、一斉に手
放すと、子ガメらは波に打ち返
されながらも手足を必死に動か
し海へ向かいました。

パトロール期間中、上陸が確
認されたウミガメは二十五頭と、
昨年（五十四頭）に比べ半分以
下に止まり、少しさみしいシー
ズとなりました。山口さんは
「海岸が汚れていたことと、海
水の温度が低かったことが影響
したのでは」と話していました。



子ガメを見送る児童たち

一輪車とビデオデッキを寄贈

大阪市在住の池田徹さん

＝ 臨本小 ＝



一輪車乗りを楽しむ児童たち

大阪市港区在住の池田徹さん
(68)が「母校の子供たちに何
か役立てれば」と臨本小学校に

一輪車二十台とビデオデッキ十
五台を寄贈、児童をはじめ関係
者らに喜ばれています。
一輪車は平衡感覚や集中力を
養うのに最適な運動器具。臨本
小でも体育の授業に取り入れた
ほか、休み時間などにも児童ら
が一輪車を持ち出し、校庭で遊
びながら一輪車乗りを楽しんで
います。
ビデオデッキは各教室に一台
づつ備え付けられ、各種授業に
役立てられています。
たくさんのプレゼントありが
とうございました。

身障者協が日本庭園を清掃

「障害者も積極的に奉仕活動に取り組もう」と市身障者協議会のメンバーの30人が8月24日、総合運動公園の日本庭園周辺を清掃しました。同協議会による清掃は毎年の恒例となっており、この日も朝8時に集合し作業開始。小雨の降る中、植え込みの間の雑草取りやゴミ拾いなどに約1時間半ほど汗を流しました。「市民の憩いの場である庭園を少しでも快適に使ってもらえれば」と参加者らは話していました。



第2回 おさかな祭り

新鮮な魚求め3万人 帰省客も「お土産に」と好評!!



お客の波が絶えなかったお魚まつり

「お魚の街あくね」のイメージ形成と現在水産加工団地内に建設の構想が進んでいる「あくねうまい本白然だネセンター」(仮称)のムードづくりを行おうと昨年からはじまった、あくね新鮮おさかな祭りが今年も八月十六日、阿久根新港で開かれました。阿久根の新鮮な魚介類や多彩な水産加工品を展示即売する

とあって、会場にはお盆の帰省客らも含め市内外から三万人が訪れ一日中にぎわいました。祭りは市漁協や鮮魚仲買組合、水産・塩干加工組合など水産関係者らが実行委員会を組織して計画。まず、魚供養や小学生らによるピラメの稚魚の放流が行われた後、午前十時にクス玉が割られ開場となりました。

昨年の来場者の多きから今回は場所を広い所に移して開催したものの、つめかけた多くの買い物客で会場はたちまち埋め尽くされ、各販売コーナーでは客の対応に追いつけない程でした。この日は活魚や鮮魚、塩干加工品、煮干し、缶詰など本市の水産物が一堂に集められ、市価よりも安く販売されました。特にいけすに泳ぐ魚を網ですくって販売する活魚コーナーには人氣が集まり人だかりができていました。

会場には全国に一台しかない水産イベント専用車「おさかなシャトル号」も展示されたほか、阿久根中学校吹奏学部も華麗な演奏を披露し、祭りに花を添えました。また、イワシの網すくい大会やハマチの手づくり大会などの各種イベントも行われ、詰めかけたチビっ子らも大喜びしていました。

「英語で話そうヨ」 4代目AETジュリー先生着任



中学生に「生の英語」に接してもらうため、市教育委員会では三年前から英語指導助手(AET)を設置し、授業の中で発音や英会話を中心に楽しい授業を展開しています。

「日本人は何年も英語を習っているのに、話せないし、話さうとしない」と英語教育の在り方について疑問を投げかける先生。「言語を習い、話せば意志の疎通ができ、いろんなことを吸収できる。自分が(中学生ばかりでなく)大人に対しても英語を話させるきっかけになれば」と意欲満々、今後の豊富を語ってくれました。

今年もジュリー・ショモンタ先生(31)が四人目のAETとして着任されました。先生はイギリス生まれ。十歳の頃オーストラリアへ移住し、今回はシドニーから来阿されました。七月末から本市で生活を始めた先生は「西洋料理の材料なども簡単に手に入り、思っていたより暮らしやすいところ」と阿久根での生活はスムーズにはじまった様子。

日本の魅力を自分の目で確かめてみたかったというのが来日の動機。阿久根を選んだのは「大きな街より、人と親しみやすいから。英語を教えるだけでなく、文化的な面も吸収したい」と日本に対し旺盛な興味を持っておられます。

働く婦人の家だより

平成4年度働く婦人の家後期講座のご案内

～たくさんのご応募をお待ちしております。～

ワープロ初級 (10名) 基本操作から簡単な文書作成まで。 月・木曜日(11月のみ)14:00～16:00 10回	〈昼〉	アートフラワー (初心者向き) (15名) 造花でお部屋が色付きます。 水曜日 14:00～16:00 15回
おとぎ草子 (20名) おとぎの原点をさぐってみましょう。 木曜日 10:00～12:00 15回		料理 (25名) 毎日の献立にひと工夫。 金曜日 10:00～12:00 15回
ワープロ初級 (10名) 基本操作から簡単な文書作成まで。 月・木曜日(11月のみ)19:00～21:00 10回	〈夜〉	水彩画 (15名) 自分の手で絵を描いてみませんか。 火曜日 19:00～21:00 15回
作法講座 (20名) 立ち居ふるまいやマナーを楽しく習得。 水曜日 19:00～21:00 15回		英会話入門 (20名) やさしい基礎の英会話です。 木曜日 19:00～21:00 15回
手編み (15名) 手編みを基礎から習いましょう。 金曜日 19:00～21:00 15回		リズム運動 (20名) リズムに合わせて体を動かしましょう。 10月～2月(月2回)10:00～12:00 10回
おもてなし料理(和風) (25名) 手作り料理でおもてなし。 11月～12月(土曜日)14:00～16:00 2回	〈短期〉	男性料理 (20名) 手軽に作れるものから料理のコツまで。 1月～2月(水曜日)18:00～20:00 5回

●募集期間 **9月21日(月)～9月30日(水)**

●募集要項

1. 開講期間 …………… 10月下旬～2月下旬
2. 受講できる人 …………… 18才以上で市内在住か市内在勤の女性
3. 受講料 …………… 無料(ただし材料費は実費負担)
4. 申し込み方法
 下記の要領で往復ハガキ又は電話で申し込んで下さい。
 (電話の場合は、後日ハガキ代をいただきます)
 (1) 希望講座名 第1希望 第2希望
 (2) 住所(区名)・氏名(ふりがな)・年齢・自宅の電話番号
 (3) 職業 有・無(有の場合は勤務先・電話番号)
 (4) 託児 有・無(有の場合は子供の名前(ふりがな)生年月日)
 受講期間内は保母が託児をいたします。(ただし、満2才～学齢前)
 夜間は行いません。
5. 受講は1人1講座ですが、募集人員に満たない場合は重ねて受講できる場合もあります。
 ただし、短期講座は定期講座と重ねて受講することができます。
 (応募者多数の場合は公開抽選を行います。10月2日(金)10時働く婦人の家)
6. 開講日等については、後日ハガキでお知らせします。

[お問い合わせは] 阿久根市働く婦人の家 ☎73-3769
 〒899-16 阿久根市鶴見町166番地

グループ紹介 003

三味線を通じて 年齢を問わず和の心 『津軽三味線』

私たち津軽三味線の始まりは、去年十二月から二、三名で自分たちの趣味で始めましたが、現在は十五名になりました。先生は、都会で活躍していらっしやいました岩崎左智恵先生です。ほとんどの方が三味線を持つのも初めてで、三味のイロハからの始まりでした。年齢も八十歳以上のおばあち



さんから十六歳の学生まで、大きなひらきがありますが、和の心を持って楽しく練習しております。中には津軽じょんがら曲弾き出来る方も数名いらっしやいます。日が浅くて二、三曲しか出来ない方もいらっしやいます。

毎週月曜日は、嶺く婦人の家で合同練習をしておりますが、もう三味線が楽しくて楽しくてたまらないという人たちがばかりです。三味線の好きな方がいらっしやいましたら皆さんもお気軽に御入りください。津軽じょんがら三味線を弾きましよう。お待ちしております。

(代表者 丸尾タミ子)

郷土資料館の展示資料紹介

菓子器

40

蓋付きで、松竹梅の金模様を描かれた朱の色合いの鮮明な漆器で美事なすばらしいものです。

河南源兵衛に贈られたもので保管箱は年輪の古さを感じさせます。

直径二三寸で金縁、蓋は直径二四・五寸の金縁で金模様がある。蓋の糸口(てがかり)は直径一二寸高さ一吋、糸底は直径が一二寸、高さ一吋、糸底から蓋の糸口までの高さは一一・五吋、重さは八〇〇gです。

源兵衛と琉球との関係は藩の御用商人として密接で、交易があり文物の交流も盛んでした。

当時薩摩では独特な漆器は作られていなかったため、この菓子器もおそらく琉球漆器であると思われる。

琉球では早くから漆芸が発達して、ダイコ(梯檜・梯沽)を木地とし、移の血を下地にした

堅牢なものが作られました。

ダイコは、落葉の高木でマメ科。幹は太く、高さ一五尺に達する、インドの原産でマレーシア、ポリネシア、琉球、小笠原にも渡来して栽培されています。奄美群島に見られますが県本土では栽培困難です。用途としては、庭木、街路樹、庇蔭樹、琉球漆器の木地、防風、防潮などです。

(河南ミチさん寄贈)



友だちの論 ⑥4



上野区
松林孝子さん (26)

- 趣味 手芸
- 好きな言葉 思いやり
- 理想のタイプ 誠実で思いやりのある人
- 思い出 山口県萩市へ行ったこと
- 何か一言 京都や奈良へ行ってみたい

※次の友だちを紹介してください。
段区の御手洗綾子さん
次はあなたの出番です。

時事講演会 入場無料

『日本や世界は
どう変わるか』

講師 大園純也
(南日本新聞社編集局長)

ますます進む高齢化社会。3K(きつい、汚い、危険)を嫌う若者たち。人不足社会と外国人労働者の流入。まだまだ続く日本叩き。3年度は激動の年であったが変動は今も続いています。不安一杯の世の中、日本の進路に誤りはないのでしょうか。私たちの今後の行き方を探ります。

日時 平成4年10月7日(水)
13時~14時

会場 市民会館大ホール

お問い合わせは、
市教育委員会 社会教育課(市民会館) ☎72-1051

- ▼奥本大二郎「虫のりどころ」
- ▼池内紀「街が消えた」
- ▼林真理子「トキョー盗り物語」
- ▼清水義範「世界文学全集」
- ▼山崎洋子「長崎・人魚伝説」
- ▼清水一行「系列」
- ▼神坂次郎「戯曲元禄御豊奉行の日記」
- ▼山田智彦「頭取の首」
- ▼椎名誠「ひるめしのもんだい」
- ▼マギー・ヘミングウェイ「橋の上の貴婦人」
- ▼岡松和夫「北京の日」
- ▼河村政敏「滅びの美学」
- ▼広岩近広「今、死のありさま」
- ▼五木寛之「よみがえるロシア」
- ▼辺見庸「赤い橋の下のぬるい水」
- ▼群ようこ「本は靴をとびだして」
- ▼いとうせいこう「全文掲載」
- ▼三木卓「いじわる動物園」
- ▼筒井康隆「朝のガスバール」
- ▼四方田犬彦「月島物語」
- ▼早乙女貢「真説出雲の河国」
- ▼松本隆「紺碧海岸」



図書館だより
今月の新着図書

阿久根短歌会

定年まで通ひ慣れたる園の道孫
ともなひて今朝も散歩す

照本 宮原 範子
川越えて明方聞こゆる鶴の声旅
来し宿に友と親しむ

琴平 川畑 スミ
孫七人それぞれ異なる性を持ち
静ひながら花火に興ず

大丸 橋崎 幸
曇の間の暑さにかかはりなき如
き星空仰ぐ縁台にゐて

新町 遠矢 律
月出でし丘の特別老人ホーム納
涼祭にて今宵賑はふ

本町 河南 節
台風に荒れたる庭の片付けに三
日もかかる船となりぬ

赤瀬川 海平 三蔵
登別に旅の疲れを癒すべく露天
湯を浴び雨の降らくに(降るのに)

赤瀬川 築瀬 紀夫
台風の子報のありてそそくさと
庭の植木鉢などかたづくる

臨本 土田美善子
清掃の墓より帰るいずこにも赤
蜻蛉飛び交ふ夕暮の道

赤瀬川 新坂 邦
去年よりも身の丈五ミリ縮み
みりて背筋のばせと夫は言へり

照本 赤崎 タエ

第6回阿久根市婦人大会

○日時 9月19日(土) 13:30～
 ○場所 阿久根市民会館大ホール
 ○テーマ 「美しいふるさとづくりを女性の
 手で」
 (ごみ問題、環境保全等について
 の話し合い、映画)
 ※どなたでも参加できます。



熱心な討論がなされた
 昨年の大会

誕生

おめでとう



出生児 保護者(区名) ※敬称略
 森枝 亮 幸一(中村)
 尻無濱 暁 徳男(尻無下)
 松林 美紀 鉄志(高之口)
 大瀧 健一 敏男(上原)

寺尾 羽亨 公利(大丸)
 大磯 優菜 祐一(横手)
 砂畑 卓也 憲雄(中村)
 宮原 綱大 眞佐樹(段)
 矢櫃 晃生 学(浦)
 中原 詩織 和則(筒田)
 山平 愛 俊治(上原)
 餅越 茜 勝志(波留)
 鮫島 明広 保幸(上野)
 北平 裕美 裕明(大下)
 谷村 京紀 友徳(大丸)
 福永 真弓 勝美(上桑)
 沖吉 由輔 洋之(波留)
 追口 大地 耕二(桐野下)
 新坂 待平 和宏(牧内)

給油所の日曜当番店

○9月20日
 南国殖産(鶴見町) 730362
 マルハ商事(バイパス) 790688
 ○9月27日
 折口石油(折口) 790251
 J A阿久根(波留) 720075
 ○10月4日
 丸善商事(新町) 720266
 寺下石油(橋之西) 792077
 ○10月11日
 阿久根石油(鶴見町) 720318
 J A阿久根(折口) 751302
 ○10月18日
 松永石油(牛之浜) 741342
 落合石油(上原) 790055

社協だより

次の方々から市社会福祉協議
 会に香典返し等の寄付がありま
 した。ありがとうございます。

大田義光(尻無上) 吉野登子
 (脇馬場) 鶴菌ミツ子(尻無上)
 倉津健三(倉津) 落スエ(落)
 富永テル子(山馬場) 神之田政
 藤(仲仁田) 中野ムツ子(川畑
 中) 瀬戸口博(脇馬場) 有田禎
 二(尾崎)
 ▼雲仙、菅賢岳災害義援金
 義援金総額(八月末現在)

「こめいふくを お祈りします」

死亡者 籍(区名) ※敬称略
 富永常右衛門88(山馬場) テル子
 倉津 スミ 73(倉津) 健三
 山下 時春47(新町) 敦子
 神之田勇助95(仲仁田) 政藤
 播磨 誠二71(脇本浜) 誠記
 有田 ミエ 89(尾崎) 禎二
 宮原フヂエ62(深田) 信雄
 落 爲義87(落) スエ

大瀧 スミエ 67(大瀧) 董
 宮田 サヨ 99(波留) 兼芳
 黒崎 定男 79(中村) 健一郎
 石澤 正助 65(下村) 千江
 上 慶子 53(脇馬場) 毅一郎
 中野 續 67(川畑中) ムツ子
 濱田 満子 63(寺山) 勝幸
 赤崎 フクノ 85(高之口) 爲義
 砂畑 シゲ 62(新町) 福藏
 松永 徳美 56(牛之浜) 井ノ上キミ
 成尾 ルイ 101(新町) 佐々木幸恵
 大田チヨノ 86(尻無中) 益男
 若松ミチ子 67(尻無上) 四男
 赤崎 磯吉 79(高之口) シツ

百一十二万一千七百六十四円
 赤十字社を通じて、被災者の
 方々へ送られます。

人口

9月1日現在()内は前月比
 人口 28,243人 (-8)
 男 13,087人 (-11)
 女 15,156人 (+3)
 世帯数 10,383戸 (+3)
 出生 19人 死亡 21人
 転入 90人 転出 95人



秋の全国交通安全運動

9/21(月)~9/30(水)

▶運動の重点

1. 高齢者の交通事故防止
2. シートベルトの着用の徹底
3. 違法駐車の手直し

統計調査にご協力を！ 9月中旬から調査員が訪問します

10月1日現在で、次の3つの統計調査が行われます。

これらの調査は、いずれも国や地方の行政に関する基礎資料を得ることを目的として行われるもので、記入された調査表は統計以外の目的に使用することは絶対にありません。

調査員がそれぞれ対象となる世帯又は事業所を9月中旬から訪問しますので、ご協力ください

るようお願いいたします。

1、就業構造基本調査

総務庁主管の抽出調査で、本市では約200世帯が対象となります。

2、商業統計調査（飲食店）

通産省主管の調査で、本年は一般飲食店（バー、酒場等を除く飲食店）について実施します。

3、商業動態統計調査

通産省主管の調査で、商業を

営む事業所のうち、国が指定した商店が対象となります。※詳しくは、市役所企画課統計調査係までお問い合わせください。

☎01211（内線1232）

骨髄バンク事業に ご理解とご支援を

白血病、再生不良性貧血、先天性免疫不全症など血液の難病は、毎年約六千人が新たに発病しています。

これらの病気を治すための画

期的な治療法が骨髄移植です。骨髄移植を成功させるためには、患者と提供者の白血球の型（HLA型）が一致しなければなりません。この型には数万以上の種類があり一致させるのは簡単ではありません。

そのため、広く一般の方に呼びかけて骨髄提供者を募り、HLA型を登録していただき、そのデータに基づいて骨髄を提供していただく骨髄バンク事業がスタートしました。

一人ひとりの力が、多くのかけがえない命を救います。ぜひ、あなたも骨髄提供者に！

なお、具体的な登録方法等については、骨髄バンク事業の概要を説明したパンフレットがございますので、県庁保健予防課（☎0992-26-8111 内線2552）までお問い合わせください。

英会話基礎講座 生徒募集

やさしい日常英会話を学びながら、若者たちが交流し、国際化に対応できる知識を得るため、市教育委員会では英会話基礎講座を開講します。

▼募集人員 30名程度

編集後記

「近ごろ車ばかりで、歩く機会ほとんどない」という方も多いのでは。マラソンもやわらぎ、運動を始めるにもいい時期となりました。最近、ウォーキングがブームになりつつあるそうです。ジョギングではフォームが悪いとヒザをおかしくしたり、無理をすると心臓へ負担がかかります。その点、ウォーキングは足にかかる負担も少なく心配もないから、とか。マ家の周辺をのんびりと歩いてみる。目ごろ車窓から見慣れた風景の中に、見過ごしていた新鮮な発見があるかもしれません。人や動植物との出会いも楽しいもの。「体方づくりだ」と肩に力を入れず、「気分転換にでも」と軽い気持ちで健康づくりができれば最高ですね。（貴）

- ▼対象 18歳～30歳までの男女
- ▼参加料 無料
- ▼日時 10月～12月までの第1・2・3火曜日 20時～21時
- ▼場所 市中央公民館2階会議室
- ▼講師 市教育委員会 有村真由美さん
- 申し込み・お問い合わせは、社会教育課まで。☎01051

市職員採用試験の案内

- 1 試験の期日 平成4年11月15日（日）
- 2 試験の場所 阿久根市役所大会議室（2階）
- 3 採用職種及び採用人員
 - 競争試験職種
 - 一般事務職（若干名）、建築技術職（1名）
 - 保母（2名）、消防職（1名）、用務員（1名）
 - 選考試験職種
 - 農業技術職（1名）、水産技術職（1名）
 - 清掃作業員（1名）、水道現業員（1名）
- 4 受験資格
 - (1) 競争試験職種については、昭和43年4月2日から昭和50年4月1日までに生まれた高等学校卒業（平成5年3月卒業見込の者を含む）程度以上の学力を有する者。
選考試験職種については、昭和32年4月2日から昭和50年4月1日までに生まれた高等学校卒業（平成5年3月卒業見込の者を含む）程度以上の学力を有する者。
 - (2) 一般事務職、保母、用務員、消防職員、清掃作業員、水道現業員については、本人又は父母が平成4年9月16日現在阿久根市に現住所を有する者。
 - (3) 建築技術職については、建築技術の専門課程を終了した者又は、平成4年度中に終了見込の者。
保母については、保母の資格を有する者又は、平成4年度中に資格取得見込の者。
- 5 受験申込期間
平成4年9月16日から平成4年10月15日まで。
（午前8時30分から平日は午後5時、土曜日は午後0時まで）ただし、日曜日及び第2、4土曜日は除く。
- 6 受験の実施要領及び申込書は、阿久根市役所総務課職員係に準備してあります。また、受験に対するお問い合わせも同課までしてください。
電話0996-73-1211（内線1211）